

用語

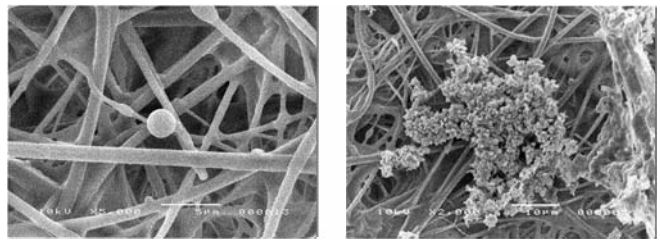
日本語：環境たばこ煙 英語：Environmental tobacco smoke(ETS)

【定義】呼出煙(喫煙者が吐き出すたばこ煙)および喫煙中のたばこの先端から発生する副流煙が空气中に放散し、希釈され時間が経過した(aged)混合物。ISO 18144(2003) ETS-estimation of its contribution to respirable suspended particles- method based on solanesol

【説明】喫煙により環境中に放散される物質群を指し、放散された後、空气中で分解、変化したものを含む。これらの物質群が水中、土壌中、その他の固相に付着したものや、生体内に取り込まれて代謝された物質などが環境たばこ煙に含まれるかどうかは明確に定義されていない。環境たばこ煙に含まれる物質には、たばこ葉に成分として含まれるもの(ニコチン、ソラネソールなど)とたばこ葉の燃焼または蒸発、気化(ベーピング)により生じるもの(CO, アルデヒド類, VOC, タール類など)、これらの物質が放散した後に酸化や光化学反応により変化したもの(ニトロソアミンなど)がある。

たばこ煙の粒子は発生時には $0.1\sim 0.2\ \mu\text{m}$ と微細であるが、気中の水分やその他の粒子に付着、凝集し複雑な形状を示す。

【解説者】鈴木 義浩 所属：柴田科学 開発部,
野口美由貴 所属：成蹊大学 理工学部



たばこ煙の電子顕微鏡写真例
(主流煙(左)×5000, 副流煙(右)×2000)

※チャンバー中で発生させたタバコ煙を10分ほど攪拌し濃度を均質化して、フッ素樹脂処理ガラス繊維フィルターにて捕集した。主流煙はISO3308と同様にたばこフィルターを通して吸引したものをチャンバー内へ導入した。副流煙はチャンバー内にて自然燃焼し発生させた。

(Photo by SIBATA Sci. Tech. Ltd.)

用語

日本語：真菌過敏症 英語：The Spectrum of fungal allergy

【定義】

真菌過敏症(真菌アレルギー症)とは、吸入により空气中に浮遊する真菌(カビ)の孢子が粘膜等へ付着し、真菌が抗原となることで、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、結膜炎、アトピー性皮膚炎、過敏性肺炎などのアレルギー症状が引き起こされる疾患である。

【説明】

代表的な原因真菌として、*Candida*, *Aspergillus*, *Alternaria*, *Cladosporium*, *Penicillium*などが挙げられる。また、アレルギー反応を伴わず真菌自体が原因となって感染症を引き起こす真菌症とは区別される。

【解説者】

古賀 遼 所属：TOTO株式会社 総合研究所

用語

日本語：パトム(PATMの片仮名読み) 英語：people Allergic to me (PATM)

【定義】

自身の皮膚などから放散する化学物質によって、周囲の他人に対して「くしゃみ、鼻水、咳、目の痒みや充血などのアレルギー反応」を引き起こさせる体質(病態)。

【説明】

通常、患者には自覚症状が無いことが多いが、PATMと自覚するとストレスとなり、診断基準や診断してくれる病院が殆どないことから、精神疾病へ繋がることもある。インターネットで検索すると沢山の「PATM」関連情報があり、PATMを主訴する人たちの間での「症状、周囲の人達の反応、改善策」についての情報交換が見られる。しかし、我が国では黎明期の化学物質過敏症やシックハウス症候群と同様に、一般人には殆ど知られていないのが現状である。現時点で病態概念が定まった疾病ではない。

身体のデトックス機能の一つとして皮膚の表面から特定の化学物質が分泌され、それが空気中に拡散することによって周囲の敏感な人がアレルギー症状を起こすのではないかと推察されている。リーキーガット症候群(腸もれ症候群)の治療や「腸内環境の改善と鼻腔内のカンジダ菌の除菌」などがPATMの治療に有効ではないかとの情報があるが、現時点では治療法が確立されていない。

【解説者】 川上裕司 所属：(株)エフシージー総合研究所